SONY®

3-810-780-**02** (1)

詳しい目次は7ページにあります。

ビデオカメラレコーダー 8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

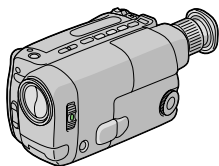
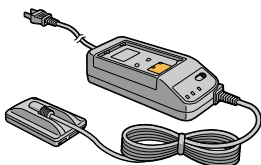
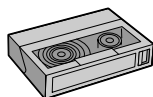
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Video 8
Handycam

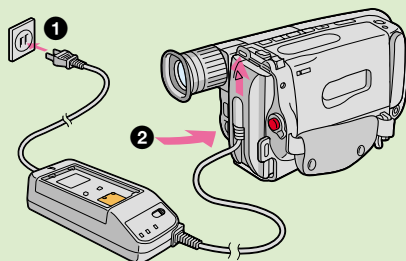
CCD-TRV11

とにかく撮って見る

必要なもの

本体

アクセサリーキット(別売り)
ACパワーアダプター

8ミリビデオカセット(別売り)
🅱マークのついたスタンダード8ミリテープをお使いください。

1 電源をつなぐ。

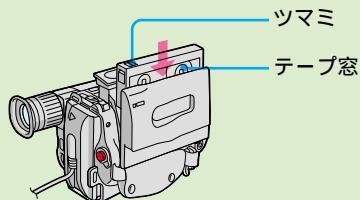
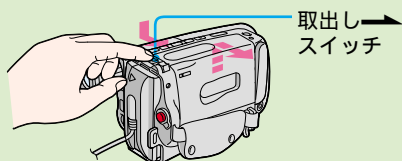
1　**電源コードをコンセントにつなぐ。**

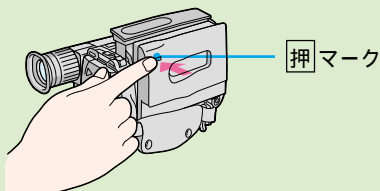
2　**ACパワーアダプターの接続プレートをバッテリー取り付け面の上部に入れ、しっかりと押して固定する。**

2 カセットを入れる。

1　**取出しスイッチの青いボタンを押しながら、矢印の方向へずらす。**
カセット入れが自動的に上がって開く。

取出しスイッチ

2　**カセットを入れる。**
テープ窓を外側に、ツマミを上にする。

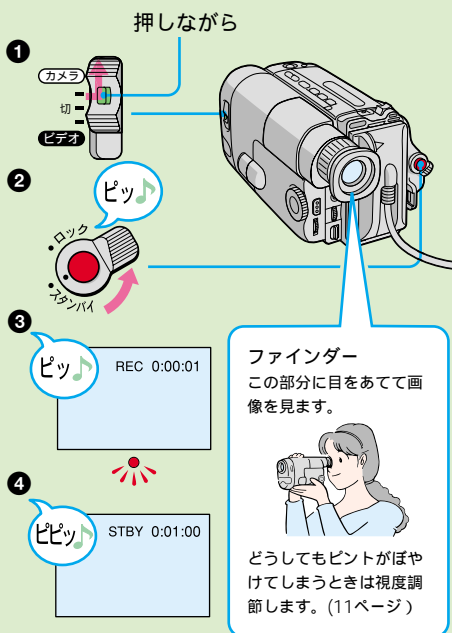
ツマミ
テープ窓

3　**[押]マークを押して、カセット入れを閉める。**
カセット入れは自動的に下がる。

[押]マーク

3 撮影する。

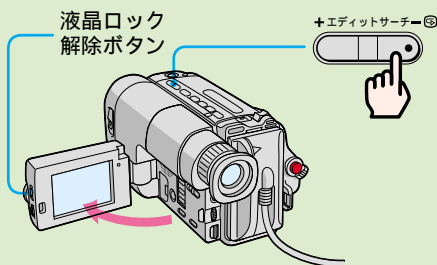
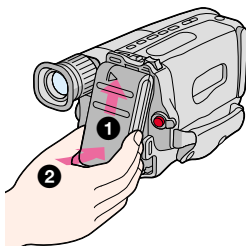
1 **電源スイッチの緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。**
レンズカバーが開く。

2 **スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする**
ファインダーに画像が見える。

3 **赤いボタンを押すと、撮影が始まる。**

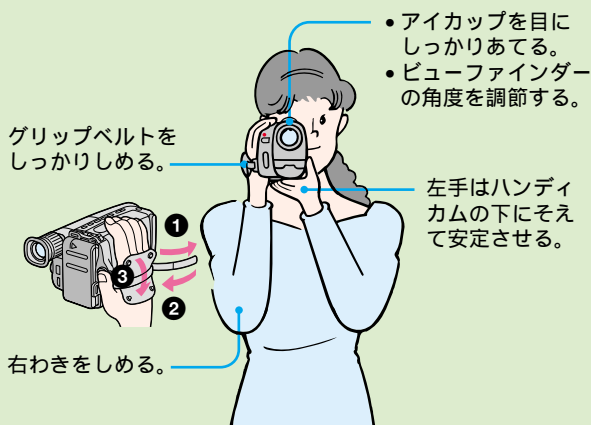
4 **もう1度赤いボタンを押すと、撮影が止まる。**

4 撮影できたか、ちょっと確認する。

1 **液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開ける。**

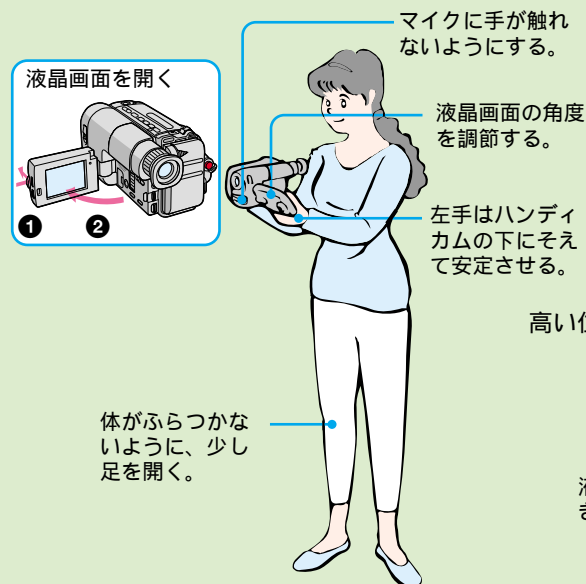
2 **エディットサーチ⊖ボタンをポンと1回押す。**
最後に撮影した場面を数秒間、液晶画面で見られる。

屋外などで撮影するときは充電したバッテリー(充電池)を使います。(8、9ページ)

● **バッテリー(充電池)を充電する** → 8
● **撮影内容を確認する** → 15
● **再生する** → 16
● **液晶画面を見せながら撮る** → 19

うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かしすぎないことと、ふらつかないような安定した姿勢で撮影することです。

ビューファインダーをのぞいて撮るとき

低い位置で撮る姿勢（ローアングル）

ビューファインダーを持ち上げる。

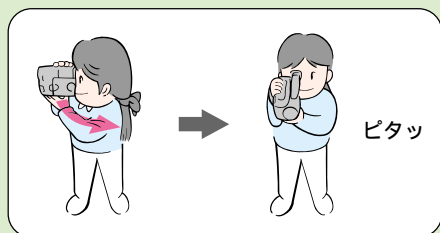
液晶画面を見ながら撮るとき

低い位置で撮る姿勢（ローアングル）

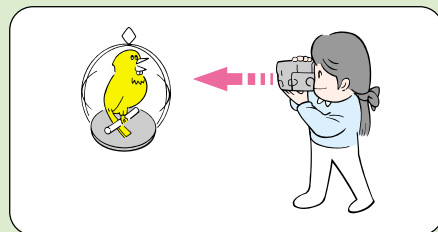
液晶画面の角度を調節する。

高い位置で撮る姿勢（ハイアングル）

撮影の基本

ハンディカムをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右にハンディカムを動かすとき（パンニング）は、つま先を撮り終わりの方に向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。

ズームは多用せず、広角で撮る。

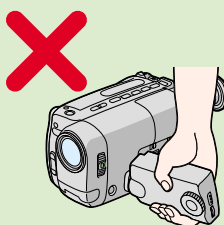
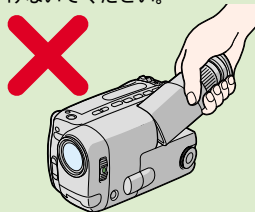
広角にすると、ブレの少ない画像になります。ピントも合いやすくなります。
被写体を大きく撮りたいときは、近づいて撮影すると音もよく入ります。

安定した見やすい画面にするコツ

- 壁によりかかるなど安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線をビューファインダーの枠に合わせる。

- 三脚を使う。ネジの長さが6.5mm未満のものをお使いください。

きれいな映像にするために

- 太陽を背に、被写体の正面に光があたるようにして、逆光を避けましょう。
- 暗いところではライトを使いましょう。

ビューファインダーや液晶画面をつかんで、本機を持ち上げないでください。

ファインダーや液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。
故障の原因になります。
ビューファインダー内部や液晶画面を傷めてしまいます。
窓際や屋外に置くときはご注意ください。

本書で使われているマークについて

：正しくお使いいただくためのご注意です。
：知っていると便利な操作や解説です。

必ずお読みください

別売りのアクセサリーキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。お持ちでない場合は、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
録画内容の補償はできません。
万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

液晶画面およびビューファインダー内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

Ni-Cd

このマークは、ニカド電池のリサイクルマークです。

この製品には、ニカド電池を使用しています。
ニカド電池は、リサイクルできる貴重な資源です。
ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取りはずし、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。
本機に対応しているバッテリーでリサイクル可能なもの
NP-55、NP-55H、NP-S55A、NP-65、NP-C65、NP-77H、NP-77HD、NP-90、NP-90D、NP-S88A、NP-S1

目次

■はじめに

■撮る

■見る

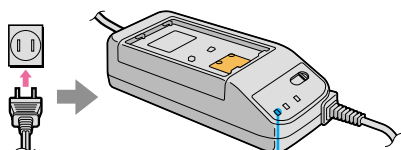
■使いこなす

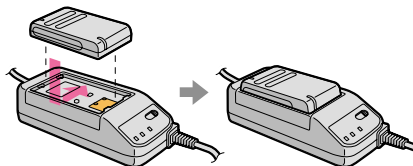
■ご注意など

準備1 バッテリーを充電する

バッテリーは充電して使います。
ACパワーアダプターAC-S15を例に説明します。

別売りのACパワーアダプターなどの充電器が必要です。
ACパワーアダプターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

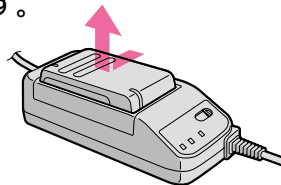
1 つなぐ。

電源ランプ(緑色)が点灯する。

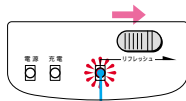
2 押しながら右へずらす。

自動的に充電が始まり、充電ランプ(オレンジ色)が点灯する。充電が終わると消える。

充電器から取りはずすとき
左へずらす。

リフレッシュ時間と充電時間について

	リフレッシュ時間*	充電時間**
NP-55	約3時間30分	約1時間5分
NP-55H	約3時間50分	約1時間15分
NP-S55A	約5時間15分	約1時間35分
NP-77H/77HD	約8時間10分	約2時間35分
NP-65/C65	約4時間50分	約1時間35分
NP-90/90D	約10時間15分	約3時間15分
NP-S88A	約10時間30分	約3時間15分
NP-S1	約11時間20分	約3時間25分

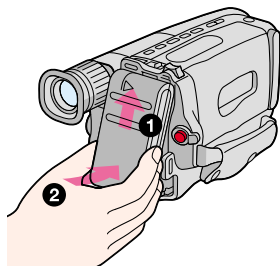
* リフレッシュ(放電)時間は最大値です。
** リフレッシュしてからAC-S15で充電に要する時間。

バッテリーを使い切らずに充電をすると、容量低下の原因になります。
なるべく、リフレッシュ(放電)してから充電しましょう。

リフレッシュするときは
手順2でリフレッシュスイッチを矢印の方向へ押します。
リフレッシュが終わると、自動的に充電が始まります。

リフレッシュランプ

準備2 バッテリーを取り付ける

屋外の撮影などでは、充電したバッテリーを電源に使います。

1 バッテリー取り付け面の上部にバッテリーの上部を入れる。

2 バッテリーを押し付けてしっかり固定する。

使用時間について

ビューファインダーを使っての撮影時間

	実撮影時間*	連続使用時間**
NP-55	約55分	約1時間35分
NP-55H	約60分	約1時間50分
NP-S55A	約1時間30分	約2時間40分
NP-77H/77HD	約2時間10分	約3時間55分
NP-65/C65	約1時間25分	約2時間35分
NP-90/90D	約2時間50分	約5時間5分
NP-S88A	約2時間55分	約5時間10分
NP-S1	約3時間5分	約5時間30分

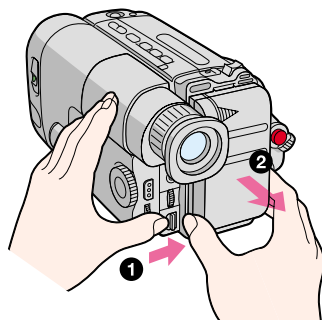
液晶画面を使っての撮影時間

	実撮影時間*	連続使用時間**
NP-55	約40分	約75分
NP-55H	約45分	約85分
NP-S55A	約60分	約1時間55分
NP-77H/77HD	約1時間40分	約3時間5分
NP-65/C65	約1時間5分	約2時間
NP-90/90D	約2時間	約3時間45分
NP-S88A	約2時間10分	約3時間55分
NP-S1	約2時間15分	約4時間10分

* 録画、スタンバイ、電源入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれより短くなることがある。

** 常温で連続撮影したときの時間。

本体から取りはずすとき

バッテリー取りはずしボタンを右にずらしながら、バッテリーの下部を手前に引く。

充電器の種類

コンセントにつなぐタイプ

- ACパワーアダプターAC-S15 など。(AC-S25は使えません。)

車のシガレットライターソケットにつなぐタイプ

- カーバッテリーチャージャーDC-S10など

液晶画面とビューファインダーの両方を使って撮影するとき(19ページ)のバッテリーの使用時間は

液晶画面を使っての撮影時間より若干短くなります。

液晶画面バックライトスイッチを「明るい」側にしたときのバッテリーの使用時間は

液晶画面を使っての撮影時間より約1割程度短くなります。

充電確認マークについて

充電確認マークのついたバッテリー(別売り)を使うとき、充電済みなら「無印」側に、使い切ったら「●」側にすると、見分けがつき便利です。

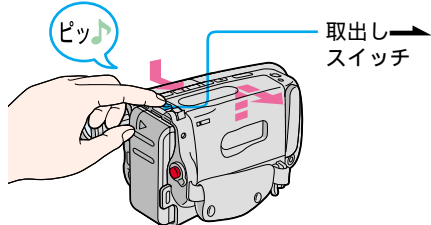
準備3 カセットを入れる

本機はスタンダード8ミリ8方式で記録します。Hi8（ハイエイト）テープを使っても、8ミリ8テープを使っても、Hi8方式でなく、スタンダード8ミリ8方式で記録します。（40ページ）
8ミリ8テープをおすすめします。

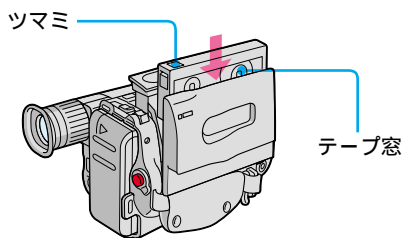
1 取出しスイッチの青いボタンを押しながら、矢印の方向へずらす。

カセット入れが自動的に上がって開く。

2 カセットを入れる。

テープ窓を外側に、ツマミを上側にして入れる。

3 押マークを押してカセット入れを閉める。

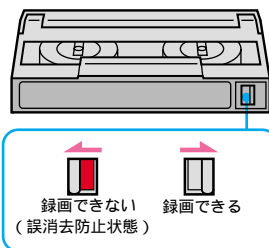
カセット入れが自動的に下がる。

押マーク

取り出すとき

「カセットを入れる」と同じ様に行い、手順2でカセットを取り出す。

カセット入れを無理に下げないでください。
故障の原因になります。

カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。
はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらして「赤」にします。

準備4 ファインダーを調節する

自分の視力に合わせて、ファインダー内の画像がはっきり見えるように調節します。

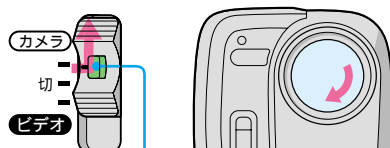
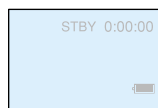
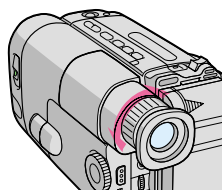
ファインダーの画像がはっきり見えないときや、はじめて撮影するとき、撮影する人が変わったときなど。

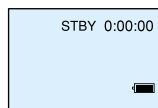
1 「カメラ」にする。

カメラ
切
ビデオ

押しながら　レンズカバーが開く。

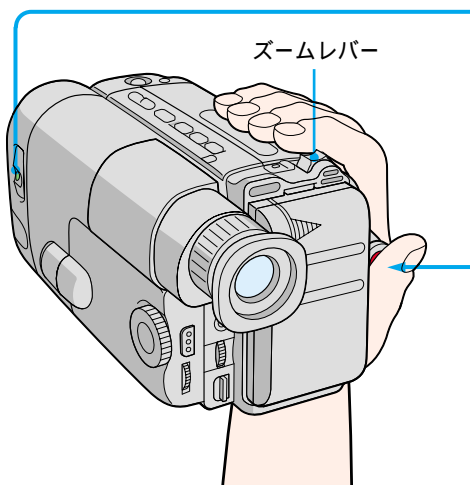
2 「スタンバイ」にする。

ピッ♪
ロック
スタンバイ
STBY 0:00:00

3 回す。

ファインダーの文字がはっきり見えるようにする。

STBY 0:00:00

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影が楽しめます。

バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れておきます。
液晶画面の内側のスタート/ストップモードスイッチが「⏏」になっているか確認します。

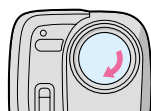
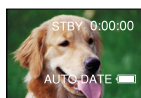
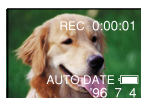
ズームレバー

1 「カメラ」にする。

緑のボタンを押しながらずらす。

カメラ
切
ビデオ
押しながら
レンズカバーが開く。

2 「スタンバイ」にする。

ピッ♪
ロック
スタンバイ
撮影スタンバイ中
STBY 0:00:00
AUTO DATE

3 押す。

ピッ♪
ロック
スタンバイ
撮影中
REC 0:00:01
AUTO DATE
'96 7 4
撮影中に点灯する。

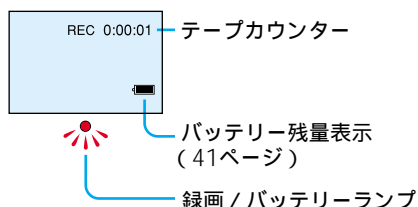
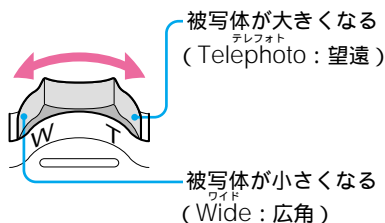
テープの最初から撮影するときは
15秒ほど撮影してから、本番の撮影をします。他の再生機で再生する場合に始めが欠けるのを防ぎます。

3種類の撮影モードが選べます(20ページ)。

1日1回、撮影のはじめの10秒間に撮影日が自動的に記録されます。(オートデート機能)
記録が終わると「AUTO DATE」表示は消えます。
次のときはオートデート機能が1日に2回以上働きます。
- 10秒以内に撮影を止めたとき
- カセットを入れ換えたとき
- 日時を合わせ直したとき

タイトルを入れて撮影中はオートデート機能は働きません。

撮影中の表示

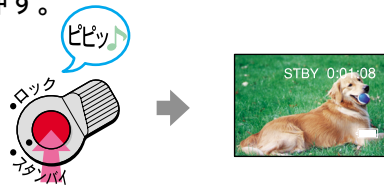
これらの表示はテープに記録されません。

撮影を一時止める

押す。

再び撮影するときは、もう1度押す。

撮影を止める

「ロック」にする。

画面が消える。

ズームする

ズームレバーを回す。

少し回すとゆっくりズームし、さらに回すと速くズームする。
ズームを多用すると見づらい作品になります。

撮影が終わったら

1 **カセットを取り出す。**
2 **電源スイッチを「切」にする。**
3 **バッテリーをはずす。**

きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、電源を切っても、スタンバイスイッチを「ロック」にしても、場面がきれいにつながります。ただし、バッテリーの交換は電源スイッチを「切」にしてから行ってください。

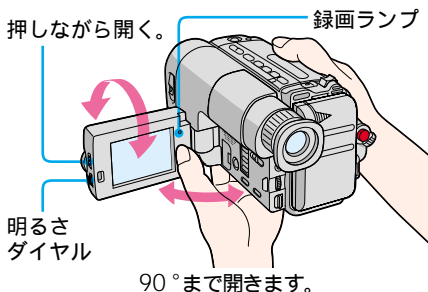
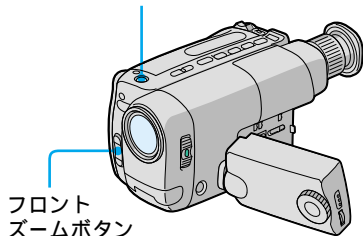
近くのものにピントがうまく合わない場合、ズームボタンをW側に動かして広角にします。
ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

テープカウンターについて
ファインダー内にテープ走行時間が「0 (時):00 (分):00(秒)」のように出ます。

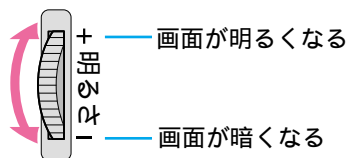
テープカウンターを「0:00:00」にするときはカウンターリセットボタンを押します。

撮影する（つづき）

液晶画面を見ながら撮影する

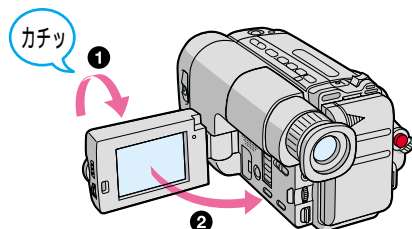
液晶ロック解除ボタンを押しながら液晶画面を開き、角度を調節する。

ローアングルで撮るときは､上面のスタート/ストップボタンやフロントズームボタンを使うと便利です。
ただし､フロントズームボタンではズーム速度は変えられません。

液晶画面を見せながら撮ることもできます(対面撮影)。(19ページ)

液晶画面の明るさを調節する

明るさダイヤルを回して調節する。

液晶画面を閉じるとき

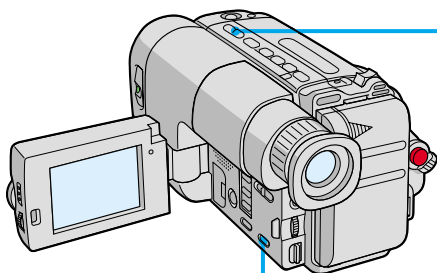
液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻す。

液晶画面を開いているときはファインダーには画像が映りません。
ただし対面撮影のときにはファインダーに画像が映ります。（19ページ）

液晶画面について
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られておりますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。
（有効画素99.99%以上）
これらの点は、テープに記録されません。

液晶画面は屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。
ビューファインダーでのご使用をおすすめします。

撮影内容を確認する

撮影した内容を液晶画面やファインダーで確認できます。撮り直しの開始点を決めることもできます。

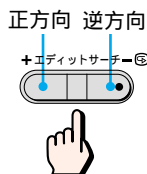
最後に撮った場面が気になるとき。もう1度途中から撮り直すときなど。

最後の場面を確認する —レックレビュー

撮影スタンバイ中に
ポンと1回押す。

最後に撮影した場面が数秒間出て、撮影した最後の場面で再び撮影スタンバイに戻る。スピーカーまたはイヤホンで音も確認できます。

正方向または逆方向に再生する —エディットサーチ

撮影スタンバイ中に
押し続ける。

指を離したところが、次の撮影開始点になる。音は出ません。

最後に撮影した終わりの部分に戻る —エンドサーチ

撮影スタンバイ中に
押す。

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて止まる。

長い内容を確認したいとき
電源スイッチを「ビデオ」にして、液晶画面やファインダーで再生画像が見られます。操作は16ページ「再生する」の手順2から5までと同じです。

撮影後、カセットを取り出すとエンドサーチの機能は働きません。

エンドサーチをしてからつなぎ撮りをすると
まれに場面がきれいにつながらないことがあります。

撮る

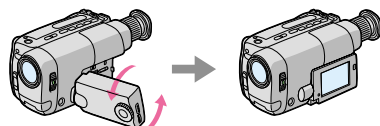
再生する

撮ったその場で液晶画面で再生して楽しめます。ファインダーでも見られます。
テレビで見るときは18ページをご覧ください。

リモコンでも操作できます。

スピーカー　画面表示ボタン

1 液晶画面を開ける。

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

180 °回転させる　閉じる

2 「ビデオ」にする。

押しながら

3 カセットを入れる。

（10ページ）

4 押す。

巻き戻しが始まる。

5 押す。

画像が映る。

バッテリーの使用時間について

液晶画面を使っての再生時間

	再生時間
NP-55	約1時間15分
NP-55H	約1時間25分
NP-S55A	約1時間50分
NP-77H/77HD	約3時間
NP-65/C65	約1時間55分
NP-90/90D	約3時間45分
NP-S88A	約3時間50分
NP-S1	約4時間

外国製のビデオソフトについて
カラーテレビ方式が異なるため、本機で再生できないものがあります。

液晶画面のカウンターなどの表示を消す
画面表示ボタンを押します。出すときは、もう1度押します。(画面表示機能)

液晶画面を閉じると、スピーカーから音が出ません。
液晶画面を外側に向けて閉じているときは、音が出ます。

液晶画面バックライトスイッチを「明るい」側にしたときのバッテリーの使用時間は
液晶画面を使っての再生時間より約1割程度短くなります。

液晶画面が見にくいとき
液晶画面の角度を調節します。

30 °まで調節できます。

いろいろな再生

こんなとき	いつ	操作
止める	再生中	■停止ボタンを押す。
静止画を見る（スチル）	再生中	❚❚一時停止ボタンを押す。 ふつうの再生に戻すときは、もう1度押すか、►再生ボタンを押す。
巻き戻す	再生中	■停止ボタンを押し、◄◄巻戻しボタンを押す。
早送りする	再生中	■停止ボタンを押し、►►早送りボタンを押す。
画像を見ながら見たい場面を探す ーピクチャーサーチ （音声は出ません。）	再生中	►►早送りボタンまたは◄◄巻戻しボタンを押し続ける。 離すと、ふつうの再生に戻る。
早送り・巻き戻し中に画像を見る ー高速アクセス（音声は出ません。）	早送り中 または 巻き戻し中	►►早送りボタンまたは◄◄巻戻しボタンを押し続ける。 離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。
撮影した最後の部分を探す ーエンドサーチ	停止中	エンドサーチボタンを押す。 撮影後、カセットを取り出していないときに限り、エンドサーチが働く。 最後に撮影した終わりの約5秒間を再生して止まる。 再び撮影するときにつなげて撮るのに便利です。電源スイッチが「カメラ」のときにも使えます。

一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度再生ボタンを押します。

音量を調節する
音量調節ダイヤルを回して調節します。イヤホンの音量も調節できます。

エンドサーチとは？
本機では、撮影後にカセットを取り出すまで、最後に撮影を終えたテープの位置を記憶しています。エンドサーチは、この位置を探す機能です。
カセットを取り出すと位置の記憶が消えるので、エンドサーチが働きません。

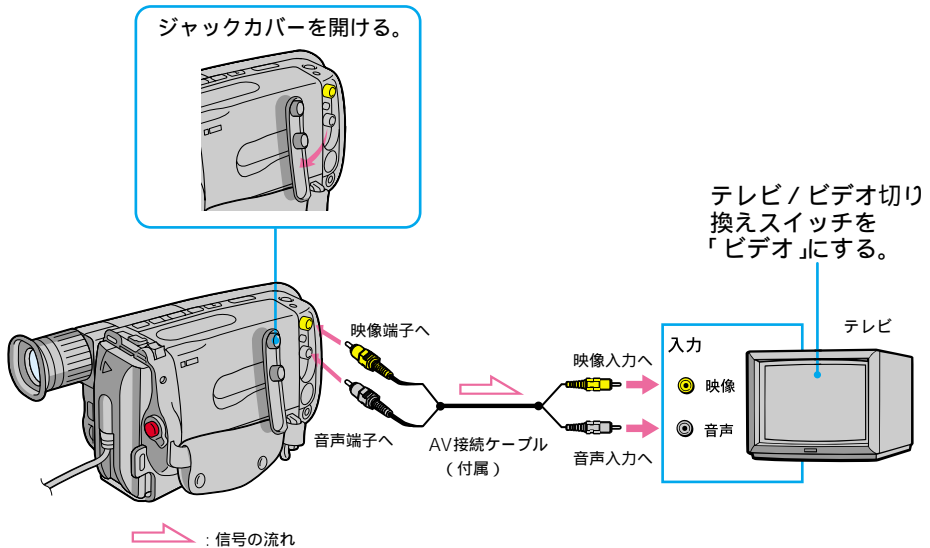
テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るために、本機を付属のAV接続ケーブルでテレビにつなぎます。
電源は別売りのACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします(27ページ)。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ジャックカバーを開ける。

テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

映像端子へ
音声端子へ
AV接続ケーブル（付属）
映像入力へ
音声入力へ
入力
映像
音声
テレビ

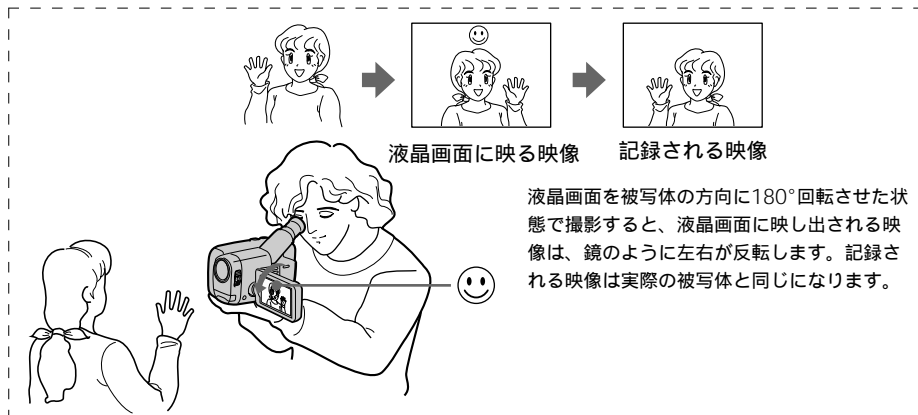
：信号の流れ

テレビがステレオの場合
AV接続ケーブル（付属）の黒いプラグを音声入力左（白い端子）だけにつなぎます。

テレビ画面にはカウンターなどの表示は出ません。

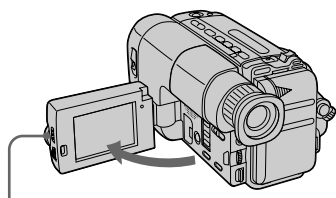
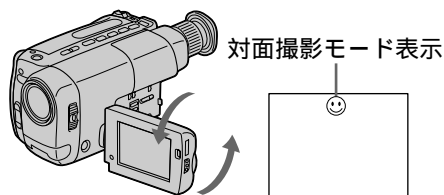
すでにテレビにビデオがつながっているとき
本機をビデオの外部入力端子につなぎます。ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

映像／音声入力端子のないテレビにつなぐとき
別売りのRFUアダプターをお使いください。

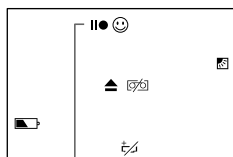
液晶画面を見せながら撮る－対面撮影

液晶画面を被写体の方向に回転させると、相手に自分が撮られている映像を見せながらビューファインダーをのぞいて撮影できます。液晶画面を見ながら自分自身を撮ることもできます。

1 撮影スタンバイの状態にする。
(12ページ手順2までの状態)

2 液晶ロック解除ボタンを押しながら液晶画面を開く。

3 液晶画面を180°回転させる。
対面撮影モード表示 ☺ が出る。

4 撮影する。
(12 ページ手順3)

対面撮影時は、以下の機能は働きません。
- カウンターリセットボタン
- タイトルボタン
- 日付(+)ボタン
- 時刻(送り)ボタン

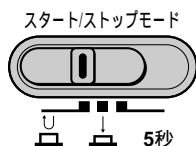
対面撮影中の液晶画面の表示

撮影スタンバイ中は●II、撮影中は●が出ます。

オートデート機能が働いて日付が入るときは数字が左右反転します。
記録は正しくされています。
対面撮影時は手動で日時を記録できません。

使いこなす

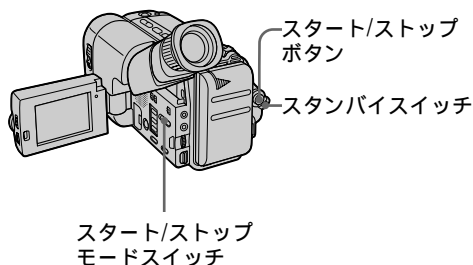
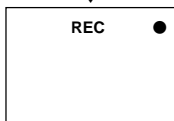
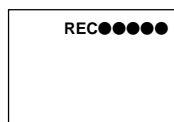
撮影モードを選ぶ

本機では通常の撮影モード以外に、2種類の撮影モードがあります。

同じ場面が長すぎる退屈なビデオになるのを防ぎたいときなど。

スタートストップモードの位置により、3つの撮影モードを選べます。

: スタート/ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります（お買い上げ時の設定）。

: スタート/ストップボタンを押している間だけ撮影します。ボタンから指を離すと撮影が止まります。

5秒 : スタート/ストップボタンを押すと約5秒間撮影して止まります。

「5秒」を選んだときの表示

1秒たつと、●が1つずつ消える。

1 **スタート/ストップモードスイッチを希望の位置にする。**

2 **スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。**

3 **スタート/ストップボタンを押す。**
「5秒」を選んだときは、約5秒後に自動的に撮影が止まる。
「　」を選んだときは、ボタンから指を離すと撮影が止まる。

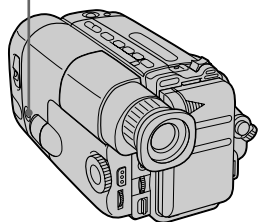
「5秒」を選んだときの撮影時間を延長するには
●がすべて消えてしまわないうちにもう1度スタート／ストップボタンを押します。押したときから、また約5秒間撮影されます。

液晶画面に表示が出ないときは
画面表示機能が解除されています。画面表示ボタンを押すと表示が出ます。

逆光を補正する

逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさを補正して撮ります。

被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るときなど。

逆光で撮影するときはもちろん、スキー場や真夏の海岸など光量が多すぎて光が反射する場合にも、被写体が黒っぽく映るのを防いで見やすい画面を作ります。
画面の中に強い光を発するものがあるときも同じです。また、白い服を着た人物が白い壁の前にいるときにも顔が黒っぽく映るので、逆光補正して表情をはっきりとらえて撮影します。

逆光補正表示

撮影スタンバイ中 または 撮影中 に

逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が出る。被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除するとき

逆光補正ボタンをもう1度押して、逆光補正表示を消す。

逆光補正のしくみ

本機は画面全体で明るさをいつも一定の量に保つ働きがあります。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになります。逆光補正ボタンを押すと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節します。

目的に合わせて撮る－プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

動きの速いものや夜景を撮るときなど。

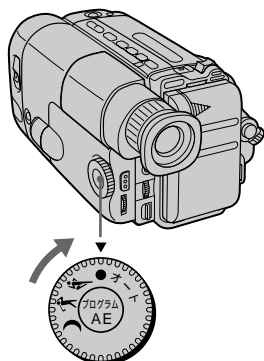
スポーツモード

運動会やテニス、スキーなどの動きの速い被写体のブレをおさえた撮影ができます。電車から外の風景を撮るときや、パンニングなどにも適しています。

高速シャッタースピードモード

ゴルフスイングなどの速い動きをくっきり撮れるので、スイングチェックなどに便利です。高速シャッターのため、鮮明な撮影には強く明るい光源が必要です。

夜景モード

夜景や花火、ネオンサインなど暗い場所で明るい被写体を撮るときに、色とびをおさえます。ある程度暗い場所での撮影に効果があります。

プログラムAEダイヤル

撮影スタンバイ中 に

プログラムAEダイヤルを回して希望のプログラムAEモードを▼マークに合わせる。

自動調節に戻すとき

プログラムAEダイヤルを回して「オート」に合わせる。

スポーツモードは
アイリスを開き、シャッタースピードを1/60から1/500の間にすることで、動体解像度を上げています。

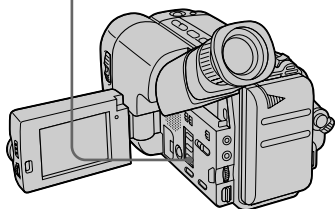
高速シャッタースピードモードは
シャッタースピードを1/4000に固定します（通常は1/60）。ノイズやブレのない静止画で再生するには、クリーンスチルが可能な8ミリビデオデッキが必要です。

夜景モードは
シャッタースピードを1/60に固定し、さらにノイズの浮き上がりをおさえるためゲインを調節しています。

プログラムAEを使わないときは
シャッタースピードは1/60になっています。

タイトルを入れる

撮影中にタイトルを入れることができます。10種類のタイトルから、内容にあったものを選びます。

タイトルボタン

撮影の始めから入れるとき

1 撮影スタンバイ中 に
タイトルボタンを繰り返し押して、出したいタイトルを表示させる。

2 **撮影を始める。**

3 **タイトルを消したいところでタイトルボタンを押す。**

撮影の途中でタイトルを入れるとき

1 撮影スタンバイ中 に
タイトルボタンを繰り返し押して、出したいタイトルを表示させる。

2 **タイトルが点滅から点灯に変わったら、タイトルボタンを押してタイトルを消す。**

3 **撮影を始める。**

4 **タイトルを入れたいところでタイトルボタンを押す。**

5 **タイトルを消したいところでタイトルボタンを押す。**

使いこなす

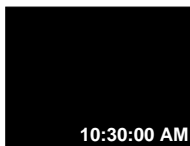
タイトルと日付・時刻は同時には記録できません。

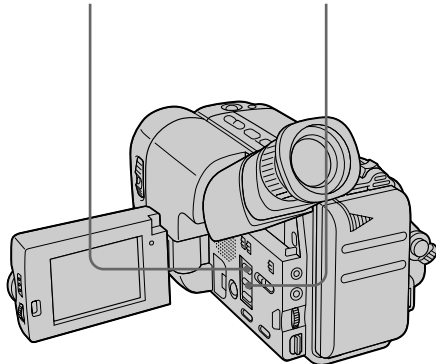
次のタイトルが順に出ます。
HELLO！
BIRTHDAY FUN
MERRY XMAS!
OUR HOLIDAY
HOW PRETTY!
THE WEDDING
VACATION
NO.1
GREAT!
THE END

録画中はタイトルを選べません。

撮影中に日時を記録する

オートデート機能(12ページ)の他に、撮影中好きなところで日付や時刻を白い文字で記録できます。

子供の成長記録や旅行先での撮影など、撮影日時を記録しておきたいとき。

オートデート機能では、1日1回、撮影のはじめに日付が自動的に記録されます。自分で日時を記録するときは、シーンや日時の変わりめの10秒間だけ黒画面を背景に記録して、実際の撮影時には消しておくことをおすすめします。撮影中ずっと日時を入れたままにすると、再生したときに気になったり、編集でカットを入れ換えたときに表示の日時が前後してしまいます。

日付(+)ボタン　　時刻(送り)ボタン

日付を入れるとき

撮影スタンバイ中 に

日付(+)ボタンを押して日付表示を出す。

消すときは、日付(+)ボタンをもう1度押す。

時刻を入れるとき

撮影スタンバイ中 に

時刻(送り)ボタンを押して時刻表示を出す。

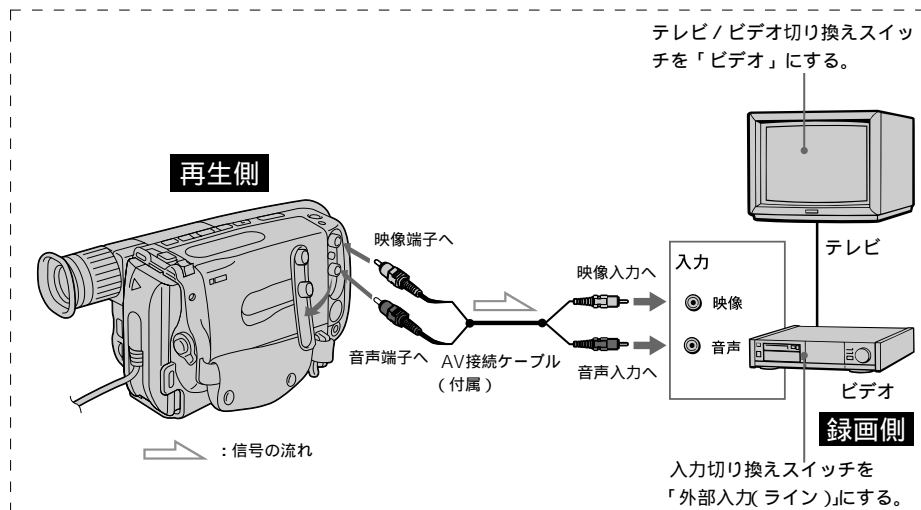
消すときは、時刻(送り)ボタンをもう1度押す。

- **「AUTO DATE」表示が出ている間は、日付・時刻ボタンは働きません。**
- **日付と時刻は同時には記録できません。**

日付・時刻を合わせ直すには
日時を合わせ直したいときは、「日付・時刻を合わせ直す」(29ページ)をご覧ください。

他のビデオへ録画する

本機を再生機、他のビデオを録画機として使い、ダビング・編集ができます。

本機に撮影済みのカセットを、他のビデオに録画用のカセットを入れておきます。

1 **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

2 **本機のカセットを再生し、他のビデオに録画したい場面でII一時停止ボタンを押す。**

3 **録画機を録画一時停止にする。**
●録画ボタンを押し、すぐにII一時停止ボタンを押す。

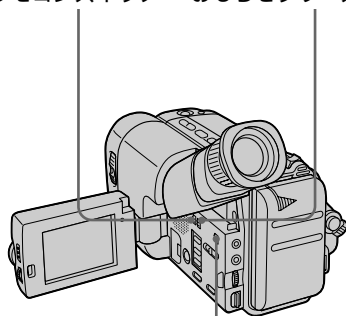
4 **本機と録画機のII一時停止ボタンを同時に押す。**

相手側のビデオは、8・Hi8方式だけでなく、VHS・VHS C・S VHS・S VHS C・β方式のどのビデオでも使えます。

ビデオ音声入力がステレオの場合
AV接続ケーブル（付属）の黒いプラグを音声入力左（白い端子）だけにつなぎます。

本機を録画機として使い、他のビデオやテレビの画像を録画することはできません。

設定を変える

リモコンを使わない、おしらせブザーがならない、液晶画面を見やすくするなどの設定ができます。

リモコンスイッチについて

「入」にすると
付属のリモコンが働く。通常は「入」にする。

「切」にすると
リモコンが働かない。他機のリモコンによって誤動作をするときなどに「切」にする。

おしらせブザースイッチについて

「入」にすると
撮影スタート／ストップ時や誤った操作をしたときにブザー音が鳴る。通常は「入」にする。

「切」にすると
ブザー音が鳴らない。

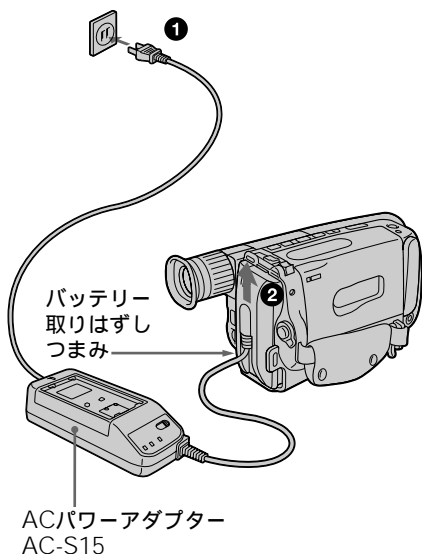
液晶画面バックライトスイッチについて

「明るい」にすると
液晶画面が明るくなる。屋外などの明るい場所では「明るい」にすると見やすくなる。

通常は「ノーマル」にする

バッテリー以外の電源で使う

バッテリーの他に、家庭用のコンセントや自動車からの電源を使うことができます。

テープを再生するときや長時間本機を使用するときなどは、コンセントからの電源を使うとバッテリー切れの心配がなく便利です。

コンセントにつないで使う

屋内の電源コンセントから電源をとります。ACパワーアダプターAC-S15を例に説明します。

1 **ACアダプターをコンセントにつなぐ。**

2 **バッテリーと同様に、本機に装着する。**

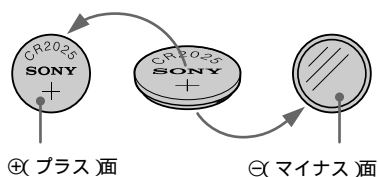
取りはずすとき

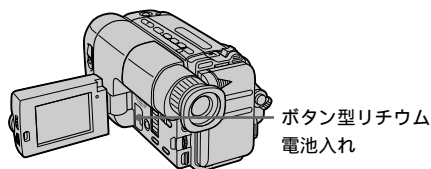
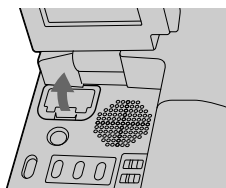
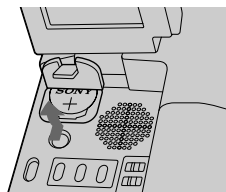
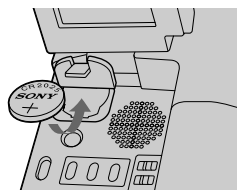
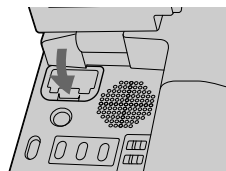
バッテリー取りはずしつまみを右にずらしながら、バッテリーと同様にはずす。

自動車の電源で使うとき

別売りのDCパックDC-S10などを使って、自動車のシガレットライターソケットから電源をとります。

ボタン型リチウム電池を交換する

ボタン型リチウム電池は⊕と⊖の向きを正しく入れてください。ボタン型リチウム電池が必要なのは、合わせた日付・時刻などを電源の入／切に関係なく保持するためです。電源を取り付けて交換してください。

電源スイッチを「カメラ」にすると約5秒間ファインダー内でボタン型リチウム電池消耗表示 が点滅するとき。

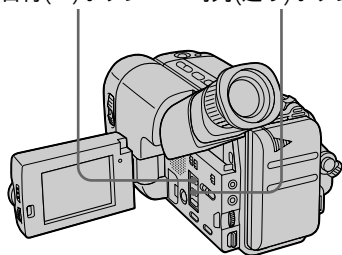
準備 市販のボタン型リチウム電池CR2025 を用意します。

1 ボタン型リチウム電池ぶたを開ける。

2 ボタン型リチウム電池を押しながら、引き上げる。

3 新しいボタン型リチウム電池 CR2025 を⊕ (プラス)面が見えるようにはめ込む。

4 ボタン型リチウム電池ぶたを閉める。

ボタン型リチウム電池について

- ボタン型のリチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、本機および電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。
- 分解や加熱をしたり、ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして適宜、処理してください。

お買い上げ時に装着済みのボタン型リチウム電池は1年もたないことがあります。

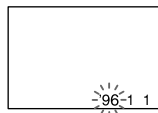
日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時には、あらかじめ日付・時刻は設定されています。
リチウム電池の交換は、電源を取り付けたまま行えば、日付、時刻を合わせ直す必要はありません。

電源を取り付けずにボタン型リチウム電池を交換したときや、日付・時刻に誤差が生じたときなど。

例： 1996 **年7月4日午前**10:30**に合わせる。**
年→月→日→時→分の順で合わせます。

1 撮影スタンバイ中 に
日付(＋)ボタンと時刻(送り)ボタンを年の表示が点滅するまで、同時に押す。

2 「年」を合わせる。
日付(＋)ボタンを押して「年」を合わせ、時刻(送り)ボタンを押す。日付(＋)ボタンを押すごとに1年ずつ進む。
1996 年に合わせるときは、時刻(送り)ボタンだけを押す。

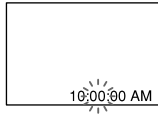
3 「月」を合わせる。
日付(＋)ボタンを押して「月」を合わせ、時刻(送り)ボタンを押す。日付(＋)ボタンを押すごとに1月ずつ進む。

ご注意など

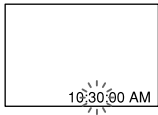
次のページへつづく

日付・時刻を合わせ直す（つづき）

4 **手順2、3と同様に、「日」、「時」を合わせる。**

5 **「分」と「秒」を合わせる。**

「分」を合わせて、時報と同時に時刻(送り)ボタンを押す。
時計が動き始める。

日付・時刻を確認する

日付ボタンを押せば日付が、時刻ボタンを押せば時刻がファインダーまたは液晶画面に出る。もう1度押すと消える。

真夜中は12:00:00AM**、正午は**12:00:00PM**と表示されます。**

年表示は次のように変わります。

’96 → ’97 → ……’00 → ……’25 →（’96に戻る）

お手入れについて

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、ファインダーや液晶画面に警告表示が点滅します。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

テープが入っているとき

テープが入っていないとき

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取出しボタン以外は働きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れても警告表示が出なければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLHやV8-6CLHSPを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- ファインダーまたは液晶画面に⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

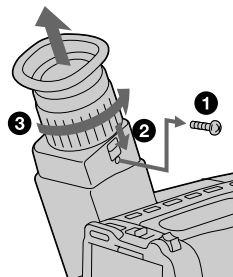
初期 → 末期

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

ビューファインダーをきれいにする

1 ❶ネジをはずす。❷つまみをずらしながら、❸接眼部を回してはずす。

2 カメラ用のブロワーブラシなどで、ゴミを取り除く。

結露は次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で起こります。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ヘッドは長時間使用すると摩耗します。

クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
液晶画面やビューファインダーに見慣れない表示が出たときは、41ページをご覧ください。

	こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。	参照ページ
撮影中	**スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。**	• 電源スイッチが「カメラ」になっていない。 • テープが終わりになっている。 • カセットが誤消去防止状態になっている。 • テープがヘッドドラムに貼りついている(結露)。	•「カメラ」にする。 • 巻き戻すか、新しいテープを入れる。 • そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。 • カセットを取り出して、カセット入れを開けたまま約1時間してからもう1度入れ直す。	12 10•17 10 31
	すぐに撮影が止まる。	スタート/ストップモードスイッチが「 」または「5秒」になっている。	スタート/ストップボタンを押すごとに撮影を始める/止めるようにするときは、「 」にする。	20
	電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	スタンバイスイッチを一度「ロック」に戻してから、再び「スタンバイ」にする。	12
	ビューファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節リングを回し、調節する。	11
	日付または時刻表示が「－－:－－」になる。	－ • ボタン型リチウム電池が消耗している。	• 日付・時刻を合わせ直す。 • 新しいボタン型リチウム電池と交換する。	29 28
再生中	**テープ走行ボタンが働かない。**	• 電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 • テープが終わりになっている。	•「ビデオ」にする。 • テープを巻き戻す。	16 17
	画像がぼやけたり、映らなかったりする。	• テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。 • ビデオヘッドが汚れている。	• 調節し直す。 • 別売りのクリーニングカセットできれいにする。	－ 31
	音声が小さい。または聞こえない。	• 音量が小さくなっている。 • 液晶画面を閉じている。	• 音量調節ダイヤルで調節する。 • 液晶画面を閉じているとスピーカーから音が出ません。	17 16

	こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。	参照ページ
撮影中・再生中	**電源スイッチをビデオ／カメラにしても動作しない。**	• バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。 • ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。 • バッテリーがしっかり取り付けられていない。	• 充電されたバッテリーを取り付ける。 • コンセントに差し込む。 • バッテリーの下を奥まで押し、しっかり取り付ける。	8 27 9
	バッテリーの消耗が早い。	• 温度が極端に低いところで撮っている。 • 充電が不充分。 • バッテリーそのものの寿命。	— • 充分に充電する。 • 新しいバッテリーに交換する。	— 8 —
	カセットが取り出せない。	• 電源(バッテリーやACパワーアダプター)がはずれている。 • バッテリーが消耗している。	• 電源をしっかり接続する。 • 充電されたバッテリーを取り付ける。	9•27 8
	◙や⏏が点滅し、カセット取出しボタン以外働かない。	• 結露している。 • その他の異常。	• カセットを取り出して、カセット入れを開けたまま約1時間してからもう1度入れ直す。	31 41
	ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではない。	—	—
	明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではない。	—	—
その他	**付属のリモコンが働かない。**	• リモコンスイッチを「切」にしている。 • リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。 • リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。 • 乾電池そのものの寿命。	• 「入」にする。 • 障害物を取り除く。 • ⊕極と⊖極を正しく入れる。 • 新しい乾電池に交換する。	26 — 38 38
	ファインダー内にゴミが入っている。	—	接眼部をはずして掃除する。	31

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません
万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書は国内に限られています
このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。
それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の“ソニーご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
部品の保有期間について
当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

別売りのACパワーアダプターAC-S15は、AC100V ～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。
また、バッテリーパックも充電できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
テレビなどで再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像／音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK文研月報による）

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン カラーアンダー　FM方式
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
録画/再生時間	SPモード：2時間 LPモード：4時間（再生のみ）（P6-120 使用時）
早送り、巻き戻し時間	約5分（P6-120使用時）
映像素子	CCD固体映像素子
ビューファインダー	電子ビューファインダー（白黒）
レンズ	12 倍ズームレンズ f=5.4～64.8mm (35mmカメラ換算では39～468mm)　F1.8～2.7 フィルター径37mm
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	3ルクス(F1.8)
被写体照度範囲	3～100,000ルクス
推奨被写体照度	100 ルクス以上

入・出力端子

映像出力端子	ピンジャック 75 Ω不均衡
音声出力端子	ピンジャック 327mV（実効値）， （47 kΩ負荷時）インピーダンス 2.2 k Ω以下
RFU DC**出力端子**	特殊ミニジャック DC5V
イヤホン端子	ミニジャック （Ø3.5）
LANC**端子**	ステレオミニミニジャック （Ø2.5）
マイク入力端子	ミニジャック 0.388mV（実効値）、低インピーダンスマイク用 DC2.5～3.5V、出力インピーダンス6.8kΩ（Ø3.5）

液晶画面

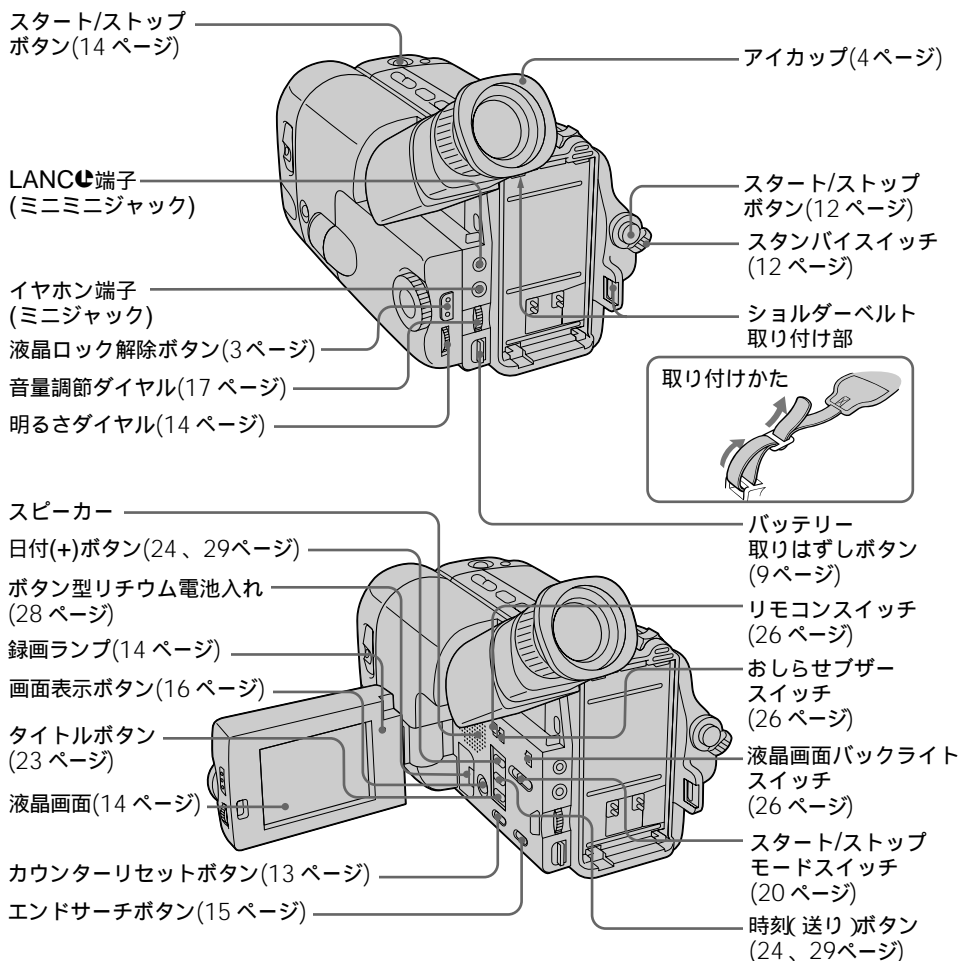
画面サイズ	2.5型
有効画面領域	50.3 × 37.4mm （幅 × 高さ）
使用液晶パネル	TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリクス）駆動
総ドット数	61,380 ドット （横279 × 縦220）

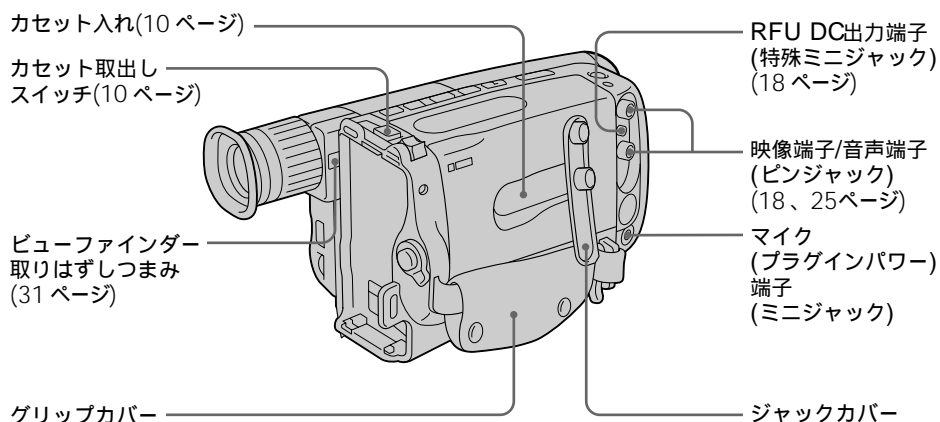
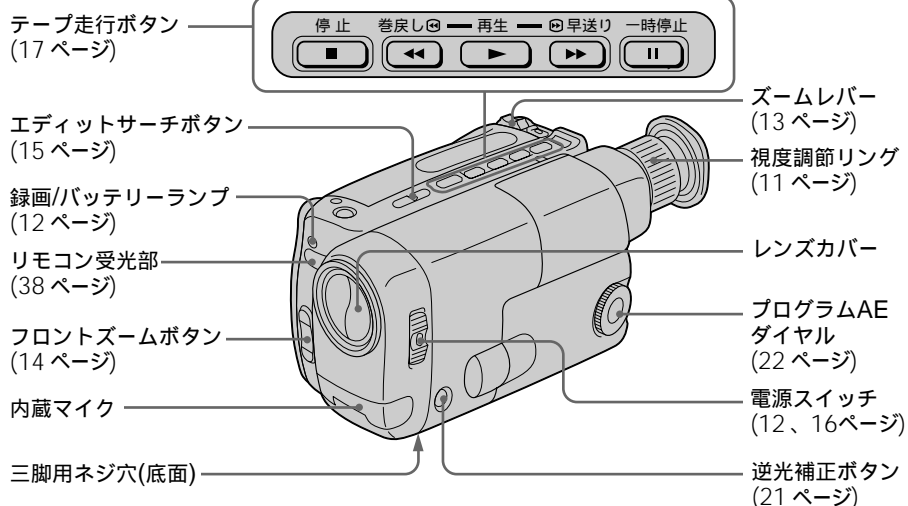
電源部、その他

電源電圧	バッテリーパック：6.0V ACパワーアダプター：7.5V
消費電力	液晶画面を使ってのカメラ録画時：4.7W ビューファインダーを使ってのカメラ録画時：3.6W
動作温度	0˚C ～+40˚C
保存温度	–20 ˚C ～+60˚C
最大外形寸法	113 × 106 × 210mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約850g
撮影時総質量*	バッテリーNP-65使用時：約1.1kg バッテリーNP-S1使用時：約1.3kg *バッテリー、ボタン型リチウム電池CR2025、テープP6-120、ショルダーベルト含む。
内蔵マイクロホン	モノラル
内蔵スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	ワイヤレスリモコン（1） 単3形乾電池（リモコン用）（2） AV接続ケーブル（1） ボタン型リチウム電池CR2025（本体に装着済み）（1） 撮り方ビデオ（1） 取扱説明書（1） 安全のために（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ 使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

(ランク)マークについて

は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

別売りの外部マイクを使う場合

マイク(プラグインパワー)端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。2ピンプラグのマイクの場合は、RFU DC出力端子を外部マイク用電源端子としてお使いください。

ご注意など

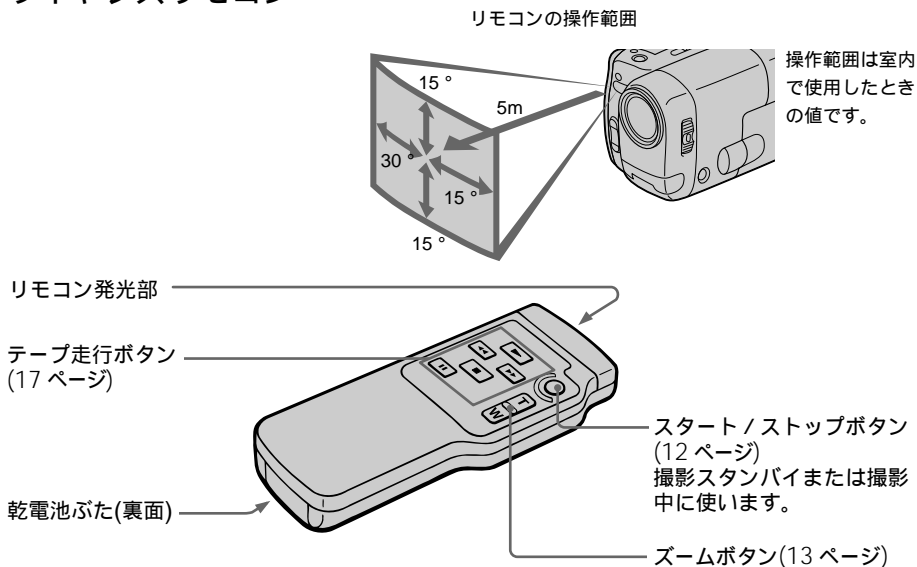
ワイヤレスリモコン

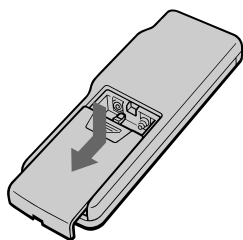
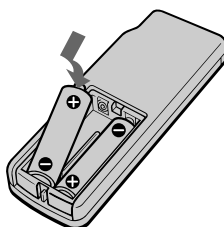
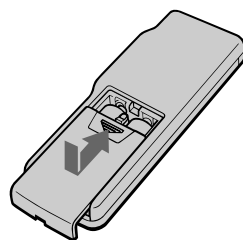
リモコン発光部

テープ走行ボタン
(17ページ)

スタート/ストップボタン
(12ページ)
撮影スタンバイまたは撮影中に使います。

乾電池ぶた(裏面)

ズームボタン(13ページ)

電池の入れかた

1 押しながらずらす。

2 入れる。

3 元に戻す。

乾電池について

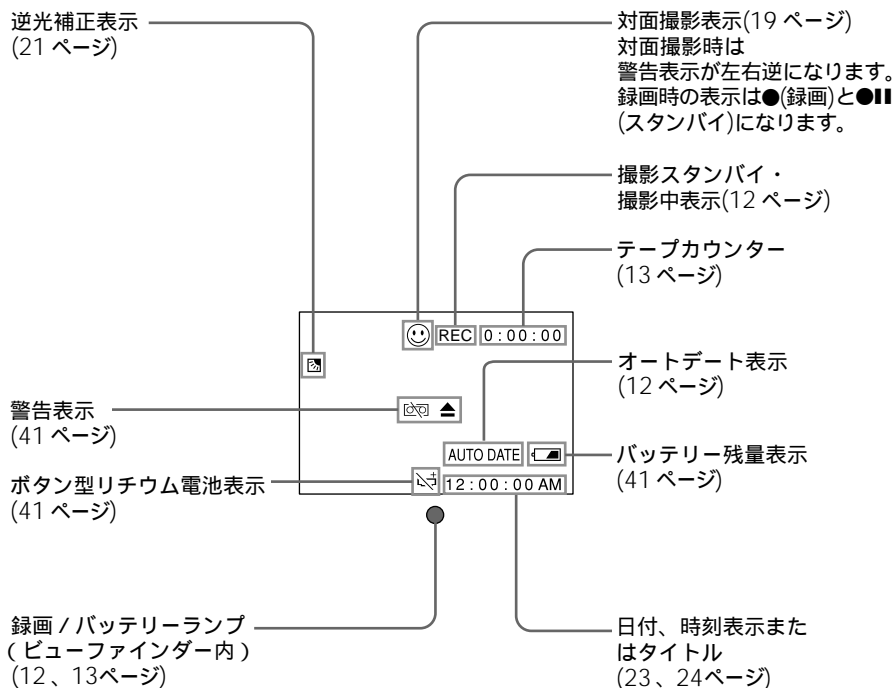
乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。

液もれがおこったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作したときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

液晶画面とビューファインダーの表示

このマークは、ソニーのビデオ機器関連商品の純正マークです。

ソニーのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはソニーのロゴマークがついているビデオ機器関連商品をおすすめします。

ご注意など

用語解説

五十音順

サ行

撮影スタンバイ…12 ページ
「撮影を待機する・準備する」という意味。撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

視度調節…11 ページ
ビューファインダー内の接眼レンズの位置を動かし、撮る人の視力に合わせて、ビューファインダーの画像がはっきり見えるように調節すること。

ナ行

ノイズ…17 ページ
静止画やピクチャーサーチの画像などに出る、横すじ状の線や画像の乱れ。

ハ行

プログラムAE(エーイー)…22 ページ
被写体や撮影状況に、より適した撮影を可能にする機能。本機では3種類のプログラムAEモードから選べる。

ヘッド…31ページ
映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使ってきれいにする。

ラ行

リモコンモード…38 ページ
リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1・VTR2 ・VTR3の3種類がある。本機はVTR2。編集時は、他のソニー製ビデオデッキをVTR2以外に切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

アルファベット順

Hi8(ハイエイト)方式…10ページ
スタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式。Hi8方式で録画されたテープはHi8方式対応でないビデオ機器では正常に再生できない。
本機はHi8方式対応ではありません。

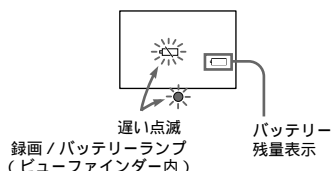
NTSC(エヌティエスシー)方式…34ページ
日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPAL(パル)やSECAM(セカム)方式のビデオでは再生できない。
海外で本機を使うときは、ご注意ください。

RFU(アールエフユー)アダプター…18ページ
ビデオの映像・音声信号をテレビ電波と同じ信号に変化して、テレビの1または2チャンネル（国内仕様の場合）で再生できるようにするもの。

警告表示

液晶画面、またはビューファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、（　）内のページにあります。

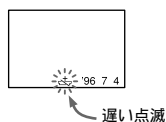
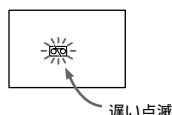
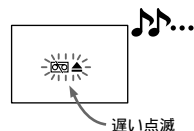
液晶画面、またはビューファインダーに出る表示は、実際には白色です。♪ はおしらせブザー音の鳴るものです。

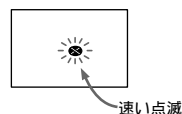
バッテリー残量

バッテリーが完全に消耗すると点滅が速くなる。

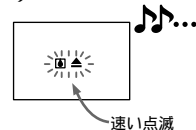
バッテリー残量表示について

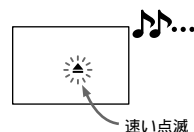
(残量表示が▭になると液晶画面、またはビューファインダーにマークが点滅する。)

テープの終わり

ボタン型リチウム電池の消耗／ボタン型リチウム電池が入っていない(28ページ)

カセットが入っていない

カセット誤消去防止(10ページ)

カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

ヘッド汚れ(31ページ)

クリーニングカセットできれいにする。

結露(31ページ)

テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行、ナ行

ハ行、マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111

ご相談になるときは次のことをお知らせください

●型名：CCD-TRV11
●故障の状態：できるだけ詳しく
●お買い上げ年月日

Printed in Japan